



化学名又は一般名： メタノール  
含有率： 約 99%  
化学式：  $\text{CH}_3\text{OH}$   
官報公示整理番号  
    (化審法)： (2)-201  
    (安衛法)： 公表  
CAS 番号： 67-56-1  
EC 番号： 200-659-6

---

#### 4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を直ちに暴露した場所から空気の新鮮な場所に移動させる。  
直ちに医師の診察を受ける。  
呼吸が止まっている場合は、人工呼吸を行う。  
必要ならば、酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合： 多量の水で洗い流す。  
汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。  
直ちに医師の診察を受ける。

目に入った場合： 多量の水で眼を開けたまま、よく洗浄する。

飲み込んだ場合： 空気の新鮮な場所に移動させる。  
アルコール飲料を与える。(例、コップ 1 杯の 40%アルコール飲料)  
直ちに医師の診察を受ける。  
メタノール誤飲を告げる。  
1 時間以内に医師の診断を受けられない場合は、嘔吐させ(意識がはっきりしている場合に限る)、再びエタノールを服用させる。(1 時間に体重 1 kg あたり 40%のアルコール飲料を最大 0.3ml)

---

#### 5. 火災時の措置

消火剤： 水、泡、炭酸ガス、粉末

特有の危険有害性： 引火性物質。蒸気は空気より重く、床に沿って拡散する。  
火災時に有害ガスを発生、フラッシュオーバーに注意すること。  
常温で、空気と混合して爆発性混合物を生成する。

消火を行う者の保護： 適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

その他： 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移し、霧状水で容器を冷やす。  
消化の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。

---

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 蒸気を吸い込まないように注意する。  
露出物との接触を避ける。  
適切に換気すること。  
作業の際には保護具を着用し、風上から作業すること。

環境に対する注意事項： 下水施設に流してはならない。爆発性。

回収・中和： 吸収剤に吸着させて、適切な廃棄処理を行う。  
露出箇所はきれいに清掃する。

---

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い： 密閉化した設備または局所排気を用いる。  
炎、火災若しくは高温体との接近を避けるとともに、みだりに蒸気を発生さ

せない。  
点火源を遠ざける。  
静電気の発生には注意をはらうこと。  
吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具（保護眼鏡・保護手袋・保護長靴等）を着用し、出来るだけ風上から作業する。  
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱をしない。

保管： 容器は気密性を保つ。  
乾燥状態で保管する。  
換気のよい場所に保管する。  
点火源、熱源を避けて保管する。  
常温（15～25℃）で保管する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### ばく露防止措置

設備対策： 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。  
衛生対策： 眼、皮膚および衣服に触れないようにする。  
作業終了後は手洗い、洗眼を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。  
皮膚保護の為スキンケアを使用する。

### 保護具

呼吸用保護具： 蒸気発生の場合は、呼吸保護具を使用する。  
その他の保護具： 難燃性の帯電防止保護衣を着用する。  
その他： 適切な保護服・保護手袋・保護眼鏡等を着用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

形状： 液体  
色： 青色  
臭い： メタノール臭  
密度： 0.79g/cm<sup>3</sup> (20℃)  
蒸気圧： Ca. 125hPa (20℃)  
沸点： 65℃  
引火点： Ca. 12℃  
自然発火点： 455℃  
爆発限界： 下限 5.5%(V) (メタノール)  
                  上限 36.5%(V) (メタノール)  
オクタノール/水分配係数： log Pow = -0.74  
溶解性： 水に溶ける。

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性： 蒸気は、空気と爆発混合物を生成するおそれがある。  
安定性： 常温では安定な物質である。  
危険有害反応可能性  
発熱のおそれ： 酸ハロゲン化物、酸無水物、酸、還元剤  
爆発のおそれ： 酸化剤、ジエチル亜鉛、ハロゲン、（粉末状の）マグネシウム、過酸化水素  
危険なガス/蒸気を生成するおそれ：  
                  アルカリ金属、アルカリ土類金属、水素  
避けるべき条件： 熱。引火点マイナス 15K を臨界値とみなす。

混触危険物質： マグネシウム、プラスチック、亜鉛合金

---

### 1 1. 有害性情報

皮膚に付着、目に入った場合：

皮膚から吸収される。  
眼をわずかに刺激する。

吸入した場合： 呼吸器官を刺激する。

吸収された場合： 吐き気、嘔吐をおこす。  
頭痛、めまい、酩酊状態に陥る。  
視力障害、失明（視神経の不可逆的障害）をおこす。

飲み込んだ場合： 吸収される。

その他の有害性： 毒性に関する量的なデータはない。  
アシドーシス、血圧降下、興奮、痙攣、昏睡状態が現れるおそれがある。  
症状が出るまでの潜伏期間がある。  
この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための十分な知見はない。

---

### 1 2. 環境影響情報

生体蓄積性： 蓄積性は見られない。

その他： 自然水、下水、土壌の汚染を避ける。  
溶解性が低いため、十分な注意を持って取り扱われるならば、水生生物への有害な影響は予測されない。

---

### 1 3. 廃棄上の注意：

残余廃棄物： 関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装： 空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

---

### 1 4. 輸送上の注意

国連番号： 1230

品名： METHANOL

クラス： 3 (6.1) /II

国内規制： 消防法： 第四類 アルコール類 II 水溶性

安全対策： 運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

---

### 1 5. 適用法令

消防法： 第四類 アルコール類 II 水溶性

メタノール

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律： 優先評価化学物質

労働安全衛生法第 57 条の 2： 通知対象物質

労働安全衛生法第 57 条： 表示対象物質

労働安全衛生法有機則： 第 2 種有機溶剤等

---

### 1 6. その他の情報

引用文献：

国際化学物質安全性カード（I C S C）日本語版 化学工業日報社(1992)  
産業中毒便覧 後藤稠 他編 医歯薬出版（株）(1977)  
化審法の既存化学物質安全性点検データ集 （財）化学品検査協会(1992)  
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM (2008)  
The Merck Index 12th Edition Merck&Co.Inc (1996)  
14303 の化学商品 化学工業日報社 (2003)  
製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>  
中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター GHS モデル MSDS 情報  
[http://www.jaish.gr.jp/anzen/gmsds/gmsds\\_index.html](http://www.jaish.gr.jp/anzen/gmsds/gmsds_index.html)  
GHS 分類集(I)(II):(社) 日本化学物質安全情報センター  
国際化学物質安全性カード（I C S C）日本語版 化学工業日報社(1992)

#### 特別注意事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであるため、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

---

記載内容の問い合わせ先

武藤化学株式会社 学術課

TEL:03-3814-5511